

ペルー輸出業者協会（ADEX）における株丹大使発言
（2015年5月5日、於：ADEX）

ご列席の皆様

はじめに、今回のADEXの会合に招待頂き、感謝いたします。このような会議を通じて、ペルーと日本をはじめとするTPP構成国間の貿易・投資が促進されることを期待しています。

言うまでもないことですが、TPPの基本的な考え方は次のとおりです。まず、TPPが高い水準の自由化を目標としていることです。TPPは、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）に向けた道筋の中で実際に交渉中のものであり、アジア太平洋地域における高い水準の自由化を目標としています。二点目が、TPPが非関税分野や新しい分野を含む包括的な協定ということです。TPPは、FTAの基本的な構成要素である物品市場アクセス（物品の関税の撤廃・削減）やサービス貿易のみではなく、非関税分野（投資、競争、知的財産、政府調達等）のルール作りのほか、新しい分野（環境、労働、分野横断的事項等）を含む包括的な協定です。このようなアジア太平洋地域における新たなルールをつくり上げていくことは、日本の国益となるだけでなく、世界に繁栄をもたらすものです。また、日本が、力強い経済成長を実現するために、TPPを通じて、アジア太平洋地域の経済成長を取り込むことはきわめて重要と考えています。このような考え方の下、日本は2013年7月からTPPの交渉に参加した訳ですが、この日本の参加に際しては、自由貿易を基本にFTAの締結を積極的に推進し、TPPの交渉に早い段階から関与してきたペルーから貴重な協力をいただきました。この機会に改めて感謝の意を示したいと思います。

我が国は現在、経済連携協定（EPA）、いわゆるFTAを15の国・地域と発効又は署名済みですが、TPPの構成国の中では、ペルーをはじめとする8か国とFTAが締結されており、ペルーと日本のFTAは、2011年5月に署名、2012年3月に発効しています。

ペルーとのFTAは、コーヒーやアスパラガス、銅、亜鉛といったペルーの重要産品が有利に日本の市場に参入することを可能にするものです。農産品の対日輸出については検疫の問題がありますが、2010年にはマンゴーの輸出が解禁されており、アボカドについては最終段階、ウンシュウミカンやブドウについても解禁に向けた手続きを行っているところです。

TPPは、未だ日本がEPAを締結していない米国、ニュージーランド、カナダを含む12か国を対象としており、また、環境や労働といった新しい分野が含まれることから、我が国にとって、より包括的な協定になります。ペルーにとっても同様のことが言えると思います。我々としても、先ほど述べた日・ペルーの二国間FTAを通じて、そして将来のTPPを通じて、より一層、ペルーと日本の通商関係が拡大することを期待しています。

先日、安倍総理が米国を訪問し、29日に米国議会で演説を行いました。この中で、安倍総理はTPPの意義について要旨次のように述べています。

「繁栄こそは、平和の苗床です。アジア太平洋諸国に、フェアで、ダイナミックで、持続可能な市場をつくりあげなければなりません。太平洋の市場では、知的財産がフリーライドされてはなりません。過酷な労働や、環境への負荷も見逃すわけにはいかない。許さずしてこそ、自由、民主主義、法の支配、私たちが奉じる共通の価値を、世界に広め、根づかせていくことができます。その営為こそが、TPPにほかなりません。しかもTPPには、単なる経済的利益を超えた、長期的な、安全保障上の大きな意義があることを、忘れてはなりません。経済規模で、世界の4割、貿易量で、世界の3分の1を占める一円に、私たちの子や、孫のために、永続的な「平和と繁栄の地域」をつくりあげていかなければなりません。」

我が国は引き続き、より広い協定の迅速かつ成功裡の妥結を達成するために、取り組む意向です。先般の日米の二国間交渉においても大きな進展があったところです。

ペルーから日本への輸出をどう拡大するか。既にある二国間のFTAや将来のTPPを最大限に活用することはもちろんで、また、例えば投資セミナーなど、ペルーの関係者が日本を訪問して、ペルーを紹介するイベントも既に行われていますが、より多くの日本人にペルーの産品を知ってもらうということも輸出拡大には重要と考えます。ペルーは日本人にとって最も訪問したい国の一つであり、ここ数年、日本からペルーへの観光客が年間1万人程度増加しています。大半の人はクスコやマチュピチュ、ナスカの地上絵に惹かれてペルーを訪問しますが、ペルーの特産品についてはペルーに来るまであまり知りません。輸出増のためには、私たちが共に、ペルーを訪問する日本人にペルー産品を知ってもらうようにするというのも一つの方法ではないかと思えます。

以上、ペルーと日本のFTA、そしてTPPの展望と期待について発言させていただきましたが、より一層ペルーと日本の貿易・投資関係が促進されることを期待して、私からの説明とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

(了)